

萩生寺と友巖和尚について

こんにちは、ナビゲータの金子です。

今回、講話をして頂くご住職の紹介をします。

愛媛県新居浜市の萩生という地にある高野山真言宗のお寺で萩生寺と言います。

鎌倉時代のはじめに、後鳥羽上皇の勅願によって建立されましたが、1585年の天正の陣（てんしょうのじん ※豊臣秀吉の四国攻め）の戦火により焼失しました。江戸時代の初めに、当時の住職 元該和尚によって焼け残った材料で当地に仮の本堂を建立されました。

現在の本堂は弘法大師入定 1150 年を記念して、1985 年に建立されました。地下にはインドの四大仏跡と西国霊場、そして四国八十八ヶ所のお砂踏み霊場があります。

斎藤友巖ご住職は 1944 年新居浜市生れ。

高野山大学を卒業後、新聞社で 7 年働いた後、生家の萩生寺の住職を継ぎます。

新聞社勤務時代に、仏教の生まれたインドで仏教を学びたいとインド留学を志すも、諸事情に阻まれて叶いませんでしたが、大きな導き、縁により 29 才のときに萩生寺の住職として普山しました。

話しは変わりますが、2009 年に、ダライラマ法王をインドより、四国に始めて招聘し、講演会を行いました。

ダライラマ法王は、チベット亡命政府の最高指導者として、反暴力・平和運動を展開、1989 年にはノーベル平和賞を受賞されました。

ダライラマ法王と友巖和尚、二人の間には国境をこえて絆があります。スピリチュアルな繋がりでもあります。

仏教の話にもどりますが、仏教には顕教と密教があります。

一般的な仏教を顕教、教えを顕わにするというのに対して、密教は秘密の教えです。わざと隠しているという意味での秘密ではなくて、心の段階に応じた秘密の部分がある教えと、と解釈してもらって良いでしょう。

空海と最澄がその密教の伝達者でした。空海は真言宗、最澄は天台宗の開祖です。

仏教を、また違った視点。

どう教えるかという角度からみると、その方法には三つあり自力門、他力門、不二門のグループに分けすることができます。

自力で悟りを開こうという宗派が禅宗に代表されます。

阿弥陀仏に委ねればよいのだという他力の宗派が浄土宗。

不二は、仏と一体になり自らを仏にすることを目指す密教系の宗派です。

「二つにあらず」と書いて不二です。

「対自していて二元的に見える事柄も、絶対的な立場から見ると対立がなく一つのものである」

となりますが、ちょっと難しいですね。すみません。

特徴としては、即身成仏といって、

「あの世で涅槃に、浄土に行ける」ではなく今悟ろう、今幸せな仏にあなたがなろうという意味です。

とても一言では言い表せませんので割愛します。

友蔵和尚の萩生寺は、この不二門のグループの真言宗です。

開祖は空海さん。四国八十八箇所でも有名ですね。

空海さんの"おくりな"は弘法大師です、親しみをこめてお大師さんとも呼びます。

ですので、友蔵和尚の講話の中に「空海」や「弘法大師」の話がでてきますこと、ご理解ください。

釈迦の教えを深く理解し悟った空海ですから、彼の言葉はそのまま釈迦の言葉と理解してもらって良いと思います。

それでは、お坊さん講話をはじめましょう。